

# 2016年度 日仏海洋学会学術研究発表会プログラム

期 日 : 2016年6月18日(土) 場 所 : 日仏会館 501 会議室 (東京都渋谷区恵比寿 3-9-25)  
参加費 : 正会員 2,000 円、学生会員 無料、非会員 3,000 円、非会員(学生) 1,000 円

8:30 受付開始

9:00~11:00 学術研究発表 午前の部 (各 15 分)

座長 内田 裕 (JAMSTEC)

- ① バイオロギングデータを用いた Vincennes 湾沖高密度陸棚水の特性に関する研究  
○阪本美帆<sup>1</sup>, 北出裕二郎<sup>1</sup> (1 海洋大)
- ② Cape Darnley 底層水形成域の混合過程に関する研究  
○引地伸太郎<sup>1</sup>, 北出裕二郎<sup>1</sup> (1 海洋大)
- ③ 宮城県・志津川湾における内部潮汐に関する数値実験  
○妹尾洋佑<sup>1</sup>, 北出裕二郎<sup>1</sup> (1 海洋大)
- ④ トカラ海峡における黒潮の高時間分解能係留観測  
○千手智晴<sup>1</sup>・松野健<sup>1</sup>・堤英輔<sup>1</sup>・  
Keunjong Lee<sup>1</sup>・中村啓彦<sup>2</sup>・仁科文子<sup>2</sup>・郭新宇<sup>3</sup> (1 九大応力研, <sup>2</sup> 鹿大水産, <sup>3</sup> 愛媛大)

座長 奥村 裕 (水産機構東北水研)

- ⑤ 天空光量子量から推定した三宅島テングサ群落の照度  
○大草駿<sup>1</sup>, 荒川久幸<sup>1</sup>, 飯島純一<sup>2</sup>, 山口邦久<sup>2</sup> (1 海洋大, <sup>2</sup> 東京水試)
- ⑥ 気仙沼湾海底堆積物における流出油と多環芳香族炭化水素の分布および起源  
○中村真由子<sup>1</sup>・  
荒川久幸<sup>2</sup>・牧秀明<sup>3</sup>・松本陽<sup>4</sup>・池田吉用<sup>2</sup> (1 海技研, <sup>2</sup> 海洋大, <sup>3</sup> 国環研, <sup>4</sup> 福島水試、)
- ⑦ 日仏間における漁業労働環境の比較研究 (予報) 両国の概況と研究計画について  
○高橋 秀行<sup>1</sup>, イヴォン・リロイ<sup>2</sup> (1 水産機構水工研, <sup>2</sup> フランス海難防止研究所)
- ⑧ 相模湾における延縄漁具の漂流形状に関する研究  
○生井沢知佳<sup>1</sup>・中野知香<sup>1</sup>・塩出大輔<sup>1</sup>・  
上嶋紘生<sup>2</sup>・宮崎唯史<sup>2</sup>・吉田次郎<sup>1</sup>・根本雅生<sup>1</sup> (1 海洋大, <sup>2</sup> 海洋大練習船)

11:00~12:00 評議員会

12:00~13:00 昼休み

13:00~15:00 学術研究発表 午後の部 (各 15 分)

座長 高橋秀行

- ⑨ 化学物質がギンザケのストレス関連バイオマーカーに及ぼす影響について  
○中野俊樹・長嶺慶美・佐々木春佳・山口敏康・落合芳博 (東北大院農)
- ⑩ カタクチイワシとカマスの視感度特性の比較  
○柴田玲奈<sup>1</sup>・米田道夫<sup>2</sup>・山田徹生<sup>2</sup>・  
津崎龍雄<sup>2</sup>・太田健吾<sup>2</sup>・小河道生<sup>3</sup> (1 水産機構水工研, <sup>2</sup> 水産機構瀬戸内, <sup>3</sup> 開発調査セ)
- ⑪ 松島湾無給餌養殖漁場の環境について  
○奥村裕<sup>1</sup>・太田裕達<sup>2</sup>・伊藤博<sup>2</sup> (1 水産機構東北水研・<sup>2</sup> 宮城水技セ)
- ⑫ 塩分を加味した海洋性有毒植物プランクトンの数値生態系モデル  
○林美鶴<sup>1</sup>・宮脇知美<sup>2</sup>・古賀竜太郎<sup>3</sup> (神戸大内海域セ, <sup>2</sup> 神戸大院海事, <sup>3</sup> 川崎冷熱)

座長 北出裕二郎 (海洋大)

- ⑬ 沿岸親潮の流量変動に伴う海洋構造の変化  
○日下彰<sup>1</sup>・清水勇吾<sup>1</sup>・佐藤充<sup>2</sup>・吉田次郎<sup>3</sup> (1 水産機構中央水研, <sup>2</sup> 道総研釧路水試, <sup>3</sup> 海洋大)
- ⑭ 海洋表層の現象の高時空間分解能観測の実現に向けて  
○秋葉龍郎<sup>1,2</sup>・田中祐志<sup>2</sup> (1 産総研, <sup>2</sup> 海洋大)
- ⑮ 太平洋側北極海におけるマイクロ波センサー Aquarius による推定塩分の精度検証  
○佐藤平理<sup>1</sup>, 溝端浩平<sup>1</sup> (1 海洋大)
- ⑯ 音速センサーを用いた絶対塩分の測定  
○内田裕<sup>1</sup>, 越智寛<sup>1</sup>, 末吉惣一郎<sup>2</sup> (1 JAMSTEC, <sup>2</sup> 日本海洋事業)

15 : 10~16 : 10 総会

16 : 10~16 : 15 2016 年度日仏海洋学会学会賞および論文賞授与式

《学会賞受賞》 荒川久幸会員（海洋大）「海中の濁りが海洋生物へ及ぼす影響に関する研究」

《論文賞受賞》 谷田 巖会員（東大）「Surface and middle layer enrichment of dissolved copper in the western subarctic North Pacific」53 巻 1-2 号, 1-18, 2015

《論文賞受賞》 寺内元基会員（(公財) 環日本海環境協力センター）「Influence of river discharge on seasonal and interannual variability of remotely sensed chlorophyll-*a* concentration in Toyama Bay, the Sea of Japan」52 巻 3 号, 49-60, 2014

16 : 15~16 : 45 2016 年度日仏海洋学会学会賞記念講演

荒川久幸会員

17 : 00~19 : 00 懇親会 オトラ アネックス（日仏会館徒歩 1 分） 会費 5,000 円, 学生 3,000 円